

令和5年度若者ワークショップ テーマ一覧

別紙

番号	テーマ	内容	実施方法	最小 実施人数	最大 受入人数	実施にあたっての 特記事項
1	脱炭素の普及啓発について	<p>・2050年に脱炭素を実現しないと現在の平均気温より2℃以上の温度上昇が避けられないと言われている。</p> <p>・2023年の今から30年弱も先の未来を見据え、行動してもらうため、将来の影響が大きい若者世代に対する脱炭素の普及啓発の効果的手法について、若者の視点から意見やアイデアを聴取し、今後の啓発事業の参考とするもの。</p> <p>※参考例 R4年度 脱炭素をテーマにした謎解き 宝探しゲーム</p>	<p>①アイスブレイク ②趣旨説明 ③グループワーク（ブレスト等） ④グループ発表</p>	4人	15人	<p>・特別な準備、持ち物は特になし。</p> <p>・最大人数については調整可能です。</p>
2	空き家の発生を予防するために私たちができること	<p>空き家の発生を予防するための効果的な取組について、若者の意見を聴取し、空き家対策の参考とするもの。</p>	<p>1 概要説明 2 アイスブレイク 3 グループワーク 4 グループ発表</p>	4人	20人	<p>・当日資料等で本市の現状を説明するため、不要</p> <p>・参加者の持ち物は不要</p>

番号	テーマ	内容	実施方法	最小実施人数	最大受入人数	実施にあたっての特記事項
3	少子化対策について	少子化の改善には若い世代の課題認識を把握することや結婚し、子どもを持ちたいと思う意識の変容を図ることが非常に重要であることから、若い世代が家庭を持つことへ希望が持てるような働きかけや現在抱えている不安の解消方法などをワークショップにより把握し、今後の施策の検討材料とするもの	1グループ10名以内(最大3グループ)とし、ワークショップ形式により、ディスカッションを行う。 なお、各グループには市職員をファシリテーターとして配置する。 ①全体説明 ②ワークショップ ③成果発表	5人	30人	本ワークショップにより得られた知見等は本市の少子化対策検討会議等により情報共有し、必要な施策の立案につなげていくことを想定。
4	選挙の投票率の向上について	「若年層の投票率を上げるためにはどうすればよいのか。」 ・周知方法 ・投票率向上のアイデア ・投票へのきっかけづくり	①趣旨、現状説明 ②グループワーク ③グループ発表	4人	20人	・選挙に関する詳しい知識は不要。 ・参加者持ち物は特に必要なし。
5	介護のイメージアップについて	近年、介護人材のニーズが高まっているが、介護事業所への調査から介護事業所の約60%が介護人材の不足を感じていることが分かっている。 この状況を改善するために、介護のイメージアップについてのグループワークを行う。	①趣旨、現状説明 ②アイスブレイク ③グループワーク ④グループ発表	4人	20人	特になし